

令和2年4月1日〈水〉

「佐渡島の金山」世界遺産推薦書原案提出

【佐渡市長コメント】

3月31日に、文化庁へ佐渡金銀山の「世界遺産推薦書原案」を提出いたしました。

佐渡市は、平成16年の市制施行以来、佐渡金銀山の世界文化遺産登録のための調査や広報事業を進め、さらに平成18年からは新潟県の協力をいただき、以降、今日まで県市が一体となって世界遺産登録を目指してまいりました。

この間、平成22年の世界遺産暫定リスト記載、構成資産の国文化財指定作業など、様々な課題を乗り越えてきました。

また、この5年間は、国内候補選定に向けた推薦書原案の作成に尽力し、国内外の専門家の指導・助言を受けながら、国からの課題への対策をはじめ、本登録の際におけるイコモス審査にも対応できるものと考えております。

さらに、これまでの間、市民の皆様あるいは佐渡ご出身の方々へは、佐渡金銀山の世界的価値をお知らせしてきました。現在、佐渡ではそれぞれの「地域の宝」である構成資産を「地域の誇り」として守っていく活動が根付きつつありますが、新潟市内や首都圏においても世界遺産登録を応援する団体が組織され、こうした数多くの皆様による物心両面による応援を心から感謝申し上げます。

佐渡市が、島の活性化のための重要な施策の一つと位置づける世界遺産登録は、「島の宝」を「世界の宝」へと導く壮大なプロジェクトでもあります。

私どもの佐渡市は、今後一丸となって令和2年度の国内候補選定を目指し、佐渡の未来のために何としても、令和4年度の世界遺産本登録を実現したいと思っておりますので、皆様の更なるご支援ご協力をお願いいたします。

令和2年 4月1日
佐渡市長 三浦 基裕